



生徒指導の充実に向けた組織的な取り組みが評価 令和3年度文部科学大臣優秀教職員に

春田基行さん



PROFILE

はるた もとゆき(掛川市)
浜岡中学校で主幹教諭を務める。
令和元年には県の優秀教職員に選出される。
授業で担当する教科は保健体育。担当する部活動は女子バスケットボール部。
休日の息抜きはスポーツ観戦。

文部科学大臣から表彰受ける

令和3年度文部科学大臣優秀教職員として表彰された浜岡中学校の春田基行主幹教諭が1月18日、柳澤市長を訪ねて受賞を報告した。県内では30人の教職員が受賞し、春田さんは代表で池田佳隆文部科学副大臣から表彰を受けた。受賞に対しては「このよう

な賞をいただき、身が引き締まる思いです。今回は個人で受賞しましたが、生徒への教育活動は全職員で取り組んでいること。学校全体を認めてもらえるとうれしいです」と思いを語った。

春田さんを県教育委員会に推薦した長谷川延明校長は、「『教師が行う生徒への指導』というと、『問題を起こした生徒への指導』というイメージが強いと思います。しかし、実際は授業や不登校生徒への対応など多岐にわたります。春田先生は、生徒の学校生活を組織全体で支えてくれています」と信頼を寄せる。

学校が楽しければ不登校は減る

春田さんは、魅力ある学校づくりのために必要なことを

「学校教育のメインは授業。楽しくわかりやすい授業を展開し、生徒が『わかった』『できた』という実感を積み重ねることが大切です」と話す。生徒指導については、「すべての生徒に学校は楽しいところだと思ってもらえるよう指導しています。これからも生徒が安心して学校生活を送ることが

できる環境づくりを心掛けていきたいです」と語る。

しかし、中には学校や私生活の問題で思い悩んでいる生徒もいるという。

「生徒の悩みは時代とともに変化してきました。最近の生徒が抱える悩みには、さまざまな要因が絡み合っていることがほとんどです。しかし、その要因を取り除いたからといって悩みを解消できないこともあります。これから職員や関係機関と連携し、生徒の成長を長い目で見ながら支えていきます」

春田さんは、今後の教育活動について、「今回の受賞を糧にして『こころざしをもち共に高め合う』という学校教育目標を実現できるよう、チーム浜中で力を合わせて頑張りたいです」と意気込む。